

加古川市登録有形文化財の登録について

1 登録に至る経緯

令和 6 年 11 月 28 日（木）

平野町内会長から「石造地蔵菩薩立像（せきぞうじぞうぼさつりゅうざう 胴切れの地蔵）」の登録申請を受け付ける。

天下原町内会長から「地蔵石仏（じぞうせきぶつ こけ地蔵）」の登録申請を受け付ける。

令和 6 年 11 月 27 日（水）

加古川市長から「キハ 2 号気動車（きどうしゃ 旧別府鉄道車両）」の登録申請を受け付ける。

令和 6 年 12 月 2 日（月）

第 2 回加古川市文化財審議委員会（以下、「審議委員会」という。）において、申請に基づき「石造地蔵菩薩立像（胴切れの地蔵）」、「地蔵石仏（こけ地蔵）」及び「キハ 2 号気動車（旧別府鉄道車両）」の市登録有形文化財としての登録について、加古川市教育委員会から審議委員会に諮問し、審議が始まる。

令和 7 年 1 月 21 日（火）

第 3 回審議委員会において、現地調査及び審議が行われ、出席委員全員一致で「諮問のあった 3 件について、市登録有形文化財として登録することを推薦する。」との議決がされる。

令和 7 年 2 月 14 日（金）

審議委員会から諮問のあった 3 件について、新たに市登録有形文化財として登録するよう登録理由書を添えて答申を受ける。

令和 7 年 3 月 6 日（木）

3 月定例教育委員会会議において、審議委員会からの答申に基づき議決し、市登録有形文化財として登録する。

2 新たに登録した文化財の内容

新登録文化財（3 件）

	種 別	名 称	数 量	所 有 者	所 在 地
1	彫 刻	せきぞうじぞうぼさつりゅうざう 石造地蔵菩薩立像 (胴切れの地蔵)	1 軀	平野町内会	加古川町平野 178 番地
2	考古資料	じぞうせきぶつ 地蔵石仏 (こけ地蔵)	1 基	天下原町内会	東神吉町天下原 556 番地
3	歴史資料	きどうしゃ キハ 2 号気動車 (旧別府鉄道車両)	1 輛	加古川市	野口町長砂 1081 番地の 1 円長寺広場

※ 詳細は別紙 登録理由書のとおり

登 録 理 由 書

1 石造地蔵菩薩立像（胴切れの地蔵） 1 軀 《彫刻》

所有者・管理者 平野町内会 所在地 加古川市加古川町平野 178 番地

寸法／像高（頭頂－足底）68cm 髪際高（髪際－足底）64.5cm 総高（石材高）101cm

材質／石造、竜山石（流紋岩質溶結凝灰岩）製

時代／不詳、室町時代後期－江戸時代前期（16・17 世紀）頃と考えられる。

加古川宿の東の境を流れる庄内川或いは西の川と呼ばれる水路と西国街道（近世山陽道）とが交差するところに建つ地蔵堂に安置されている石仏である。高さ 100cm 余りの竜山石の石材に、右手に錫杖を持ち左手で宝珠を胸前に捧持する地蔵菩薩を半肉彫りしたもので、やや重厚感がある自然な体軀をしている。全体に経年による磨滅と損傷があり、特に腹部で上下に割れていることが目立つ。その他、右頭部が損傷し一部欠失している。作者は不明である。

この石仏には、「その昔、このお地蔵さんを深く信仰していた人が、うっかり西国街道を通る大名行列の前を横切ったため、お供の侍の無礼打ちにあい、胴体を真っ二つに切られてしまいました。ふと気がつくとなんとも無事でした。辺りを見回すと、普段お参りしているお地蔵さんの胴が二つに割れていました。それ以来、地蔵さんが自分の身代わりになって下さったと、一層深く信仰するようになった。」という伝承があり、「胴切れの地蔵」として昔から多くの人々に親しまれ信仰を集めている。太平洋戦争終戦前後までは敷地に建つ藁葺きの小屋に住む「堂守りさん」に世話されていたが、現在は、地元の人々が世話をしていて、地蔵盆では 600 人以上の参拝者がある。

また、『中国行程記』（1764 年）にこの位置に「地蔵」の表記があり、石仏の劣化状況と合わせて考えて、この地蔵は、18 世紀中頃にはよく知られていたと考えられる。

現在、地蔵堂付近は、人々の往来の多い街中にありながら、旧街道、水路及び煉瓦建物が一つの景色の中にあり、近世・近代の加古川の風景をよく伝えているところでもある。

この地蔵石仏は、近世の加古川宿及び加古川の近代化の風景の中で、身代わり地蔵の伝承とともに、西国街道の賑わいの様子をよく伝えるもので、歴史上の意義を有するものである。

登 録 理 由 書

2 地蔵石仏（こけ地蔵） 1 基 《考古資料》

所有者・管理者 天下原町内会 所在地 加古川市東神吉町天下原 556 番地

寸法／現高（石棺蓋底面地上露出高）136cm 幅（石棺蓋の幅）106cm 厚さ（石棺蓋の厚さ）30cm 像高（仏像の頭頂－足底）62cm 髪際高（仏像の髪際－足底）55cm
 材質／石造、竜山石（流紋岩質溶結凝灰岩）製
 時代／石棺は古墳時代後期（6・7 世紀）、仏像は南北朝時代（14 世紀）頃

古墳時代の大きな家形石棺の蓋の内側に、南北朝時代頃に地蔵菩薩立像を半肉彫りした石仏である。作者は不明である。

石棺は古墳時代後期の家形石棺の蓋の部分で、材質はこの地域で産出される竜山石（流紋岩質凝灰岩）製であり、表面は丁寧に仕上げられている。長辺は一部が地中にあるため詳しくわからないが 136cm 以上あり、短辺が 106cm、厚さが 30cm、上部には平坦面があり、内側に浅い割り込みがあるある大型の石棺の蓋である。

仏像は、石棺蓋の内側を上部が丸い舟形に大きく彫りくぼめ、右手に錫杖を左手に宝珠を捧持した地蔵菩薩立像を半肉彫りで彫り出している。また、頭光はずかしく浮き出して表現されている。像容からこの地域に多い南北朝時代のものと考えられる。

この石仏については、平安時代の陰陽師である蘆屋道満が、現在の西神吉町岸の正岸寺に生まれ、都から戻ってきて亡くなった後、その魂（或いは式神）が井戸に閉じ込められたが、一つ火（火の玉）となって京の都に向かう途中、この石仏にぶつかって慰められ、消えていくという「どうまんの一つ火」の伝説が伝わっている。

さらに、「こけ地蔵」の名称については、「苔の地蔵」が「転（こ）け地蔵」に転訛したという説のほか、道満の一つ火が毎夜この地蔵にぶつかりしだいに傾き、何度起しても前に倒れるので、俗に「転（こ）け地蔵」と呼ばれるようになったという説がある。

古墳の石棺の部材を転用して仏像や種子を彫り出したものは石棺仏と呼ばれ、全国的には珍しいもので、加古川市、加西市及びその周辺の地域に集中している。

この地蔵石仏は、石棺仏が集中するこの地域の中でも典型的なものであり学術的に価値があり、また、古くからの言い伝えである陰陽師蘆屋道満の一つ火の場面であることから、文化史的意義があるものである。

登 録 理 由 書

キハ 2 号気動車 (旧別府鉄道車両) 1 輦 《歴史資料》

所有者 加古川市 所在地 加古川市野口町長砂 1081 番地の 1 円長寺広場

寸法／長さ 12.92m、幅 2.72m、高さ 3.555m

重量／15.7t

材質／半鋼製 (車台部鋼製、乗車部木製)

時代／昭和 6(1931)年 7 月

製造／日本車輛製造株式会社

この気動車は、昭和 6(1931)年に日本車輛製造株式会社によって製造され、昭和 40(1965)年に当時の別府鉄道が三重県の三岐鉄道から購入し、昭和 59(1984)年に別府鉄道が廃線になるまで、主に別府港や山陽電鉄「別府駅」と当時の国鉄高砂線「野口駅」を結ぶ野口線で使用され、沿線の住民や事業所の足として利用されていた。

車両の特徴としては、バケット付き気動車としては日本最古級であり、両妻面に装備されている荷台は、行商人の携帯する鮮魚・野菜・自転車等を置くためのものであり、現存する機械式気動車としては、全国的に希少価値がある。

別府軽便鉄道 (昭和 21 (1946) 年に別府鉄道に社名を変更) は、多木製肥所 (現在の多木化学株式会社) の肥料製品を積み出すための鉄道として、大正 10(1921)年に野口線が開業し、大正 12(1923)年に土山線が開業した。その後、主に別府港周辺の製品輸送を担ってきたが、昭和 59(1984)年 1 月に日本国有鉄道 (国鉄) の合理化の影響で廃線となった。その後、この気動車は、別府鉄道の「圓長寺」駅跡の円長寺広場に野外展示されることとなった。老朽化により褪色や錆による腐食が進行していたところ、市民有志によって「別府鉄道キハ 2 を守る会」が結成され、平成 25(2013)年から継続して修理が行われ、良好な外観に戻り、公開イベントも実施されている。

日常的に修理が行われるなど良好に管理されるとともに公開されているこの気動車は、別府地域の近代の産業と交通を物語る現存する歴史資料の中で、文化史的意義を有するものである。

1 せきぞうじぞうぼきつりゅうぞう
石造地蔵菩薩立像（胴切れの地蔵）



2 じぞうせきぶつ
地蔵石仏（こけ地蔵）



3 キハ2号^{きどうしゃ}気動車（旧別府鉄道車両）



指定文化財・登録文化財 目録

国指定： 23件
 県指定： 33件
 市指定： 72件
 国登録： 9箇所37件
 市登録： 3件
 (遺跡数： 670件)

令和7年4月1日現在

種別凡例

<建>建造物、<絵>絵画、<彫>彫刻、<工>工芸品、<書>書跡・典籍・古文書、<考>考古資料、
 <歴>歴史資料、<無>無形文化財、<民>民俗資料、<史>史跡、<天>天然記念物、<記>記念物

<国指定>

番号	区分	種別	件名	数量	指定年月日	所有者・管理者	所在地
1	国宝	建	本堂 附 棟札2枚	1棟	明34・3・27	鶴林寺	加古川町北在家424番地
2	国宝	建	太子堂	1棟	明34・3・27	鶴林寺	加古川町北在家424番地
3	重文	建	常行堂	1棟	明40・5・27	鶴林寺	加古川町北在家424番地
4	重文	建	鐘楼 附 旧小屋材1個	1棟	明40・5・27	鶴林寺	加古川町北在家424番地
5	重文	建	護摩堂 附 棟札2枚	1棟	明40・5・27	鶴林寺	加古川町北在家424番地
6	重文	建	行者堂 附 棟札2枚	1棟	昭5・5・23	鶴林寺	加古川町北在家424番地
7	重文	絵	絹本着色聖徳太子像	1幅	明34・8・2	鶴林寺	加古川町北在家424番地
8	重文	絵	絹本着色慈恵大師像	1幅	明34・8・2	鶴林寺	加古川町北在家424番地
9	重文	絵	絹本着色弥陀三尊像	1幅	明34・8・2	鶴林寺	加古川町北在家424番地
10	重文	絵	絹本着色聖徳太子絵伝	8幅	明34・8・2	鶴林寺	加古川町北在家424番地
11	重文	絵	板絵著色聖徳太子像 (太子堂壁画) 附 板絵著色仏涅槃図 1面、 板絵著色九品来迎図 1面	1面	昭52・6・11	鶴林寺	加古川町北在家424番地
12	重文	彫	銅造聖観音立像	1軀	明34・8・2	鶴林寺	加古川町北在家424番地
13	重文	彫	木造釈迦三尊像	3軀	明34・8・2	鶴林寺	加古川町北在家424番地
14	重文	彫	木造十一面観音立像	1軀	大3・8・25	鶴林寺	加古川町北在家424番地
15	重文	彫	木造天蓋	1個	大3・8・25	鶴林寺	加古川町北在家424番地
16	重文	彫	木造地藏菩薩半跏像	1軀	大7・4・8	長楽寺	志方町永室853番地の1
17	重文	彫	木造薬師如来及両脇侍像 木造二天王立像	3軀 2軀	平10・6・30	鶴林寺	加古川町北在家424番地
18	重文	工	鼈太鼓縁 附 鼓胴・革残欠 一括	2基	昭47・5・30	鶴林寺	加古川町北在家424番地
19	重文	工	木造鶴林寺扁額	1面	明34・8・2	鶴林寺	加古川町北在家424番地
20	重文	工	銅鐘	1口	明34・8・2	鶴林寺	加古川町北在家424番地
21	重文	工	銅鐘	1口	明34・8・2	尾上神社	尾上町長田518番地
22	重文	工	木造髹漆厨子	1基	大3・8・25	鶴林寺	加古川町北在家424番地
23	史跡	史	西条古墳群 (尼塚、行者塚、人塚)	3基	昭48・6・18	加古川市 山手二丁目958番は文 部科学省、昭51・4・7加 古川市管理団体指定	山手二丁目1700番 51(尼塚)、958番・959 番(行者塚)、1700番 100・103・111(人塚)

加古川市教育委員会

文化財調査研究センター 〒675-0101 兵庫県加古川市平岡町新在家1224-7

電話 079-423-4088 FAX 079-423-8975 ホームページ <http://www.city.kakogawa.lg.jp>

(文化財調査研究センター直結QRコード)



＜県指定＞

番号	種別	件名	数量	指定年月日	所有者・管理者	所在地
1	建	石造宝塔並びに五輪塔	3基	昭36・5・12	常楽寺	加古川町大野1762番地
2	建	石造十三重塔	1基	昭37・6・15	報恩寺	平荘町山角466番地の1
3	建	本岡家住宅	1棟	昭44・3・25	加古川市	東神吉町天下原715番地の5
4	建	鶴林寺三重塔 附 寛文12年棟札、元禄10年棟札、 文化9年棟札	1棟	昭45・3・30	鶴林寺	加古川町北在家424番地
5	建	石造宝篋印塔	1基	昭45・3・30	鶴林寺	加古川町北在家424番地
6	建	石造宝篋印塔	1基	昭47・3・24	円福寺	志方町高畑544番地
7	建	地徳寛墓地石幢	1基	昭47・3・24	細工所町内会	志方町細工所地徳寛墓地
8	建	石造五輪塔 附 銅製蔵骨器 1、陶磁製蔵骨器 1	4基	昭50・3・18	報恩寺	平荘町山角466番地の1
9	建	石造五輪塔 石造宝篋印塔 石造宝塔	1基 1基 1基	昭50・3・18	池尻町内会	平荘町池尻字益気350番地の3
10	建	石造宝篋印塔	1基	昭50・3・18	土山町内会	平岡町土山357番地
11	建	石造宝篋印塔	1基	昭50・3・18	養老町内会	平荘町養老592番地
12	建	石造宝篋印塔	1基	昭50・3・18	良野中町内会	野口町良野1027番地
13	建	石造宝篋印塔	1基	昭50・3・18	坂元町内会	野口町坂元508番地の2
14	建	石造宝篋印塔	1基	昭50・3・18	安養寺	平岡町一色24番地
15	建	石造十一重塔	1基	昭51・3・23	福田寺	加古川町稲屋607番地
16	建	石造五輪塔	1基	昭51・3・23	教信寺	野口町野口465番地
17	建	石造九重塔	1基	昭52・3・29	常楽寺	上荘町井ノ口158番地
18	建	鶴林寺仁王門	1棟	平 4・3・23	鶴林寺	加古川町北在家424番地
19	絵	絹本著色当麻曼荼羅図 附 旧軸木1本及び補修記録1幅	1幅	平 4・3・23	龍泉寺	加古川町平野123番地
20	絵	阿弥陀三尊来迎図	1幅	平12・5・2	常楽寺	東神吉町神吉1413番地
21	絵	釈迦三尊十六善神像	1幅	平16・3・9	報恩寺	平荘町山角466番地の1
22	彫	行道面 附 宝髪 2個	12面	昭43・3・29	鶴林寺	加古川町北在家424番地
23	彫	木造阿弥陀如来坐像	1軀	昭48・3・9	鶴林寺	加古川町北在家424番地
24	彫	木造僧形坐像(伝恵便法師像)	1軀	平 8・3・26	鶴林寺	加古川町北在家424番地
25	彫	獅子頭	2面	平 9・4・8	鶴林寺	加古川町北在家424番地
26	彫	沙弥教信頭像	1軀	平13・3・30	教信寺	野口町野口465番地
27	彫	二臂如意輪観音半跏思惟像	1軀	平13・3・30	鶴林寺	加古川町北在家424番地
28	彫	木造聖徳太子立像	1軀	平31・3・12	鶴林寺	加古川町北在家424番地
29	工	懸仏 附 懸仏(如意輪観音)鏡板 1面	2面	昭48・3・9	鶴林寺	加古川町北在家424番地
30	工	机	1脚	昭48・3・9	鶴林寺	加古川町北在家424番地
31	工	懸仏(薬師如来)	1面	平17・3・18	鶴林寺	加古川町北在家424番地
32	書	報恩寺奉加帳並びに報恩寺 文書	3帖、10 通1巻	昭50・3・18	報恩寺	平荘町山角466番地の1
33	史	西条廃寺跡	1件	昭44・3・25	加古川市	西条山手二丁目28、 山手二丁目1700番63・75・149

＜市指定＞

番号	種別	件名	数量	指定年月日	所有者・管理者	所在地
1	建	陣屋	1棟	平10・1・8	個人	加古川町寺家町315番地
2	建	平木橋	1基	平22・3・5	加古川市	野口町水足前ノ池
3	建	石造宝篋印塔	1基	平25・2・28	見土呂町内会	上荘町見土呂441番地の2
4	建	石造十三重塔	1基	平29・3・2	常楽寺	加古川町大野1762番地

<市指定>

番号	種別	件 名	数量	指定年月日	所有者・管理者	所 在 地
5	絵	薬師十二神将図	1幅	平 2・10・11	常楽寺	東神吉町神吉1413番地
6	絵	聖徳太子絵伝	3幅	平 4・10・ 6	鶴林寺	加古川町北在家424番地
7	絵	釈迦三尊十六善神像	1幅	平 4・10・ 6	鶴林寺	加古川町北在家424番地
8	絵	播州印南郡報恩律寺七堂図 (参詣曼荼羅図) 附 勸進状 3巻	1幅	平12・ 4・13	報恩寺	平荘町山角466番地の1
9	絵	天台十大師図	10幅	平13・ 4・12	鶴林寺	加古川町北在家424番地
10	絵	釈迦如来座像及び十六羅漢像	16幅	平14・ 4・11	鶴林寺	加古川町北在家424番地
11	絵	両界曼荼羅図	2幅	平15・ 3・11	鶴林寺	加古川町北在家424番地
12	絵	仏涅槃図	1幅	平16・ 3・11	鶴林寺	加古川町北在家424番地
13	絵	妙音弁才天像	1幅	平18・ 3・ 2	鶴林寺	加古川町北在家424番地
14	絵	五大尊像	3幅	平31・ 3・14	鶴林寺	加古川町北在家424番地
15	彫	木造毘沙門天立像	1軀	平 2・ 6・15	教信寺常住院	野口町野口465番地
16	彫	木造阿弥陀如来坐像	1軀	平 2・10・11	鶴林寺真光院	加古川町北在家316番地の1
17	彫	木造阿弥陀如来立像	1軀	平 2・10・11	法音寺	尾上町養田629番地
18	彫	聖徳太子坐像及び二王子立像	3軀	平 4・10・ 6	鶴林寺	加古川町北在家424番地
19	彫	四天王立像	4軀	平 4・10・ 6	鶴林寺	加古川町北在家424番地
20	彫	弁財天立像	1軀	平 5・10・29	鶴林寺	加古川町北在家424番地
21	彫	地藏菩薩立像	1軀	平 6・11・10	永昌寺	神野町西条828番地
22	彫	地藏菩薩立像	2軀	平 6・11・10	鶴林寺	加古川町北在家424番地
23	彫	行基菩薩坐像 附 勸進帳 1冊	1軀	平11・ 1・ 7	鶴林寺	加古川町北在家424番地
24	彫	木造聖観音菩薩立像	1軀	平12・ 4・13	常楽寺	加古川町大野1762番地
25	彫	薬師如来坐像及び両脇侍像	3軀	平15・ 3・11	佛性寺	志方町原314番地
26	彫	大日如来坐像	1軀	平17・ 3・ 3	鶴林寺	加古川町北在家424番地
27	彫	阿弥陀如来立像	1軀	平19・ 3・ 1	如意寺	加古川町木村602番地
28	彫	地藏菩薩立像	1軀	平19・ 3・ 1	教信寺	野口町野口465番地
29	彫	追儼面	3面	平23・ 3・ 4	鶴林寺	加古川町北在家424番地
30	彫	木造金剛界大日如来坐像	1軀	令 4・ 3・10	報恩寺	平荘町山角466番地の1
31	工	朱漆塗猫足礼盤	1脚	平 2・10・11	鶴林寺	加古川町北在家424番地
32	工	銅鐘	1口	平 3・10・ 1	円照寺	志方町広尾1029番地
33	工	法華経版木 附 版木残欠	78枚	平 5・10・29	鶴林寺	加古川町北在家424番地
34	工	縹糸胸取金茶威二枚胴童具足	1領	平13・ 4・12	個人	平岡町西谷
35	工	鉄錆色漆塗桶側胴具足	1領	平13・ 4・12	個人	加古川町北在家
36	工	平之荘神社神輿	1輦	平13・ 4・12	平之荘神社	平荘町山角478番地
37	工	黒漆瓶子	1対	平17・ 3・ 3	鶴林寺	加古川町北在家424番地
38	工	鼓胴	1口	平24・ 2・ 2	鶴林寺	加古川町北在家424番地
39	工	牛皮華鬘	10枚	平24・ 2・ 2	鶴林寺	加古川町北在家424番地
40	書	紺紙金字金剛般若波羅蜜経	1巻	昭63・ 1・14	鶴林寺	加古川町北在家424番地
41	書	大般若経	504帖	平14・ 4・11	報恩寺	平荘町山角466番地の1
42	書	大般若経	1巻	平14・ 4・11	報恩寺	平荘町山角466番地の1
43	書	妙法蓮華経	4巻	平14・ 4・11	鶴林寺	加古川町北在家424番地
44	書	大般若経	600帖	平19・ 3・ 1	鶴林寺	加古川町北在家424番地
45	書	鶴林寺文書	12通	平20・ 3・13	鶴林寺	加古川町北在家424番地
46	考	三角縁神獸鏡 附 石釧2点、方格渦文鏡1面、獸形鏡1面	1面	平 2・10・11	加古川市教育委員会	平岡町新在家1224番地の7
47	考	三角縁神獸鏡	1面	平 2・10・11	加古川市教育委員会	平岡町新在家1224番地の7
48	考	カンス塚古墳出土品一括	24点	平 2・10・11	加古川市教育委員会	平岡町新在家1224番地の7

<市指定>

番号	種別	件 名	数量	指定年月日	所有者・管理者	所 在 地
49	考	弥陀三尊種子板碑・釈迦三尊種子板碑	2基	平 3・10・ 1	平之荘神社	平荘町山角478番地
50	考	胎蔵界大日一尊種子及び地藏立像板碑	1基	平 3・10・ 1	地藏寺	平荘町池尻1番地
51	考	長慶寺山古墳出土品一括	34点	平 6・11・10	加古川市教育委員会	平岡町新在家1224番地の7
52	考	弥陀三尊種子板碑	1基	平16・ 3・11	広尾西町内会	志方町広尾1576番地
53	考	線刻地藏板碑	1基	平18・ 3・ 2	西山町内会	平荘町西山122番地
54	考	六尊石仏	1基	平20・ 3・13	長楽寺	平荘町小畑150番地の1
55	考	八尊石仏(ハツ仏)	1基	平21・ 3・ 6	小畑東町内会	平荘町小畑
56	考	石製露盤及び刹	露盤1個・刹1個	平26・ 2・27	中西町内会	西神吉町中西251番地
57	考	弥陀三尊種子板碑・弥陀一尊種子板碑	2基	平27・ 2・26	西山町内会	平荘町西山103番地
58	考	六地藏石仏	1基	平28・ 2・25	西之山町内会	神野町西之山428番地
59	考	四尊石仏	1基	平28・ 2・25	報恩寺	平荘町山角466番地の3
60	考	天坊山古墳出土品一括	24点	平30・ 3・ 2	加古川市教育委員会	平岡町新在家1224番地の7
61	考	画文帯神獸鏡	1面	令 2・ 3・12	加古川市教育委員会	平岡町新在家1224番地の7
62	考	稚児窟石棺蓋	1基	令 5・ 3・ 9	池尻町内会	平荘町池尻698番地の9
63	歴	泊神社棟札	2枚	令 3・ 3・11	泊神社	加古川町木村658番地
64	無	鶴林寺鬼追い	1団体	平13・ 4・12	鶴林寺鬼追い保存会	尾上町安田
65	民	祭礼絵巻	1巻	平 2・10・11	神吉八幡神社	西神吉町宮前81番地
66	民	三十六歌仙図絵馬	32枚	平 2・10・11	泊神社	加古川町木村658番地
67	史	宮山遺跡	古墳他	昭43・ 4・ 1	上西条・中西条町内会	八幡町上西条1158番地の2
68	史	北大塚古墳	1基	昭43・ 4・ 1	西之山町内会	神野町日岡苑31番地
69	史	教信寺境内	1か所	平10・ 1・ 8	教信寺	野口町野口384番地、465番地
70	史	石井の清水	1か所	平26・ 2・27	中西町内会	西神吉町中西251番地
71	史	南大塚古墳及び西大塚古墳	古墳2基	令 5・ 3・ 7	加古川市	加古川町大野日岡山公園内
72	天	築山の榎	1本	平 2・10・11	国包伊勢講	上荘町国包179番地

<国登録>

番号	種別	件 名	数量	登録年月日	所有者・管理者	所 在 地
1	建	大歳家住宅(主屋、東什器蔵、西什器蔵、離屋、隠居部屋、長屋・長屋門、茶室、米蔵、穀物蔵)	9件	平11・11・18	大歳家住宅再生会	別府町新野辺881番地
2	建	多木浜洋館(主屋、記念碑、石造門、煉瓦塀)	4件	平14・ 8・21	学校法人多木学園	別府町東町174番地
3	建	志方八幡神社社務所(主屋、門、蔵)	3件	平14・ 8・21	志方八幡神社	志方町志方町301番地の2
4	建	神田家住宅洋館	1件	平17・ 2・ 9	個人	加古川町本町444番地の3
5	建	尾上神社(本殿、拝殿、幣殿、隨身門)	4件	平19・ 5・15	尾上神社	尾上町長田518番地
6	記	みとろ苑庭園	1件	平19・ 7・16	財団法人農村文化協会	上荘町見土呂375番地の1
7	建	常楽寺(本堂、薬師堂、山門、鐘楼)	4件	平19・ 7・31	常楽寺	東神吉町神吉1413番地
8	建	泊神社(本殿、末社住吉神社本殿、末社種子神社本殿、末社熊野神社本殿、幣殿、太鼓蔵、能舞台、神楽殿)	8件	平20・ 4・18	泊神社	加古川町木村658番地
9	建	旧大西家住宅(みとろ苑)(表門、大広間棟、渡廊下及び浴室)	3件	平21・ 4・28	財団法人農村文化協会	上荘町見土呂375番地の1

<市登録>

番号	種別	件 名	数量	登録年月日	所有者・管理者	所 在 地
1	彫	石造地藏菩薩立像(胴切れの地藏)	1軀	令 7・ 3・ 6	平野町内会	加古川町平野178番地
2	考	地藏石仏(こけ地藏)	1基	令 7・ 3・ 6	天下原町内会	東神吉町天下原556番地
3	歴	キハ2号気動車(旧別府鉄道車両)	1輛	令 7・ 3・ 6	加古川市	野口町長砂1081番地の1